

2024

AUTUMN

秋号

まだ知らない香川を
旅する小冊子

TRAVEL KAGAWA

トラベルカガワ



香川の

手しごとを巡る

「蒔繪」という香川漆芸の技法で制作している山下義人氏(人間国宝)の手元

©Mitsuji Kawahito

かがやくけん、かがわけん。

香川県

travel.my-kagawa.jp



香川の 手しごとを 巡る

香川漆芸や庵治石、盆栽など多くの伝統工芸・伝統産業が息づく香川県。
人から人へと受け継がれてきた技が、独自の文化を生み出しています。
伝統を守りつつも、今なお進化を続ける香川の手しごとをご紹介します。

漆
芸

URUSHI
LACQUER
ART

香川漆芸のはじまりは、約200年ほど前。当時主流だったのは絢爛豪華な蒔絵ですが、中国や東南アジアのエキゾチックな漆器の魅力を写し取り、香川漆芸の技法として確立したのが、祖である玉椿象谷でした。
その後、磯井如真^{いそいじょしん}や音丸耕堂^{おとまるこうどう}らによって、色漆の活用や新しいデザインがもたらされ、芸術の域へと押し上げられた香川漆芸は、多くの表現者を生み出し、人間国宝を6名輩出しています。

漆芸の学び舎

香川漆芸は素地の制作から下地、塗り、加飾を、すべて漆芸家一人で行うこともあります。素地には木だけでなく布や竹を使い、技法も蒔^{まき}、存^{ぞん}、彫^{てう}、漆^しと実にさまざま。そんな香川漆芸の基礎を3年間かけて学べる施設が漆芸研究所です。本格的に学べる施設は全国的にも珍しく、香川県漆芸研究所では重要無形文化財保持者（人間国宝）による実習も行われ、その様子を見学することもできます。

香川県漆芸研究所

高松市番町1-10-39 / tel.087-831-1814 / 8:30~17:15 / 土・日・祝定休 / Pなし ※見学（平日9:00~16:00）は要予約



香川漆芸ショップ



若手漆芸作家の作品展示・販売コーナー。漆芸の美しさと創造的なデザインが楽しめます。

※販売をしていない場合がありますのでお問い合わせください

香川漆芸ホール



人間国宝の漆芸作品などを展示。その卓越した技術を間近で見ることができます。

※観覧無料
※時期によって展示内容が変わります

香川漆芸の 3技法

蒔^{まき} 醬

器物の上に漆を塗り重ねて剣で文様を彫り込み、溝に色漆を埋め込んでから表面を研いで磨き上げる技法

存^{ぞん} 清

漆を塗り重ねた器物に色漆で文様を描き、剣で輪郭や細部に線彫りを施し※、彫り口の凹部に金粉や金箔を埋めて文様を引き立てる技法
※漆を塗り重ねた器物に彫刻刀で文様を彫る技法もある

彫^{てう} 漆

各種の色漆を数十回以上塗り重ねて色漆の層（100回で厚さ約3mm）を作り、その層を彫り下げることで文様を浮き彫りにする技法

おたひとし
太田備（人間国宝）
らんたいきんまはこ
藍胎蒔醬箱「風薫る頃」

藍胎とは真竹のひごを二重に編んだ素地のこと。そこに蒔醬の技法を施している

漆芸研究所で講師を務める
山下先生に聞く

香川漆芸への想いと未来

Q 香川漆芸の魅力とは？

香川漆芸は、なんといっても彫刻刀や剣による精巧な彫りの技術と多彩な色漆の使用が特徴です。その表現豊かで洗練された技術は、工芸を超えた究極のアートと言えます。

Q 香川漆芸が今後どのように なっていきたいですか？

この魅力ある香川漆芸を国内外のより多くの人に知ってもらい、手に取ってもらえるようになればと思います。香川県では複数の世界的なブランドとコラボレーションした作品の制作・販売にも取り組んでいます。また、漆器は取り扱いが難しいと思われがちですが、漆器の飯椀でいただくご飯はとても美味しいので、普段使いして身近に感じてほしいです。



やました よしと
人間国宝 山下義人さん

1951年高松市生まれ。1971年、香川県漆芸研究所を修了。2007年紫綬褒章受章、2013年重要無形文化財「蒔醬」保持者（人間国宝）に認定。香川県漆芸研究所にて後進育成に尽力。

《旅行会社様向け》

工房見学やトークサロン等のご相談も承れます。

香川県交流推進部観光振興課
国内セールスグループ
tel.087-832-3362

SHOP Information

【讃岐かがり手まり】



【香川漆器】
石粉塗箸
シュレオリジナルカラー

香川を中心とした四国の食品や、衣食住に関するアイテムが勢ぞろい。食から暮らしの道具までこだわりの逸品が見つかります。



まちのシュレ963 / 高松市丸亀町13-3 高松丸亀町参番街東館2F / tel.087-800-7888 / 11:00~19:00 / 第3月定休（祝日の場合振替有） / 近隣の有料Pをご利用ください



【高松張子】
奉公さん



【肥松木工品】
ぐい呑み(小)

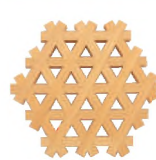


【讃岐一刀彫】
IROだるま ミニ
(イエロー)

木育をテーマとした「讃岐おもちゃ美術館」に併設するshop。美術館に展示された讃岐の伝統工芸品やおもちゃを販売しています。



讃岐おもちゃ美術館shop / 高松市大工町8-1 丸亀町くるりん駐車場1F / tel.087-887-6762 / 10:00~17:30 / 木定休、年末年始休 / 近隣の有料Pをご利用ください



【組手細工】
コースター



【丸亀うちわ】
ミニ小判うちわ
涼風だより 讃岐の民芸品

栗林公園に隣接するギフトショップ。県内の特産品から伝統工芸品、ここでしか買えないオリジナル商品まで、幅広く取り扱っています。



かがわ物産館 栗林庵 / 高松市栗林町1-20-16 / tel.087-812-3155 / 9:30~17:30（月によって変動あり）。詳しくはHPをご確認ください / 年中無休（臨時休業あり） / 県営駐車場隣接

世界的に高い評価を受ける ものづくり

ジョージ・ナカシマの作品を間近で

木と対話をしながら家具づくりを行った世界的な家具デザイナー、ジョージ・ナカシマの生き方や哲学を広めるために、彼とともに家具製作をしてきた桜製作所が設立した記念館。「地方の職人の手によって、時代に即したもののづくりを」と提唱した「讃岐民具連」にともに賛同したことを機に交流を重ね、桜製作所はジョージ・ナカシマの家具づくりを任せられるようになりました。日本で氏の家具をつくるのは、今も桜製作所のみというほど固い絆で結ばれ、記念館では家具はもちろん、写真やドローイングなども鑑賞することができます。

ジョージナカシマ記念館
高松市牟礼町大町1132-1 / tel.087-870-1020 / 10:00~17:00
(入館は16:30まで) / 日・祝定休、夏期、年末年始休 / P20台



(中央)コノイドベンチ/低めの座面、背もたれの細い部材が並ぶ様は彫刻的で美しい

木工

WOOD
WORK

手袋

GLOVES

東かがわ市から始まり、130余年の歴史を誇る香川の手袋産業。現在も国内生産の9割を占める。

唯一無二の手袋を



丁寧な裁断と縫製の技術で生産を拡大した平田商店で、オーダーメイドの革手袋を作りませんか？工場見学も可。

平田商店
東かがわ市湊516 /
tel.0879-25-5034 / 9:00~17:00
/ 土・日定休 / P2台 ※工場見学は
10日前までに要相談



先人たちの功績を知る



プロスポーツ選手の手袋や昭和5年製の手袋など、さまざまな種類の手袋を展示。手袋産業に功績を遺した先人たちの資料も必見です。

香川のでぶくる資料館
東かがわ市湊1810-1 /
tel.0879-25-3208 (日本手袋工業組合)
/ 10:00~17:00 (受付~16:30) /
11月23日、年末年始休 / P200台



手袋とバッグの二刀流



創業以来、半世紀以上培ってきた現場のノウハウを生かして、手袋やバッグを製作。ショールームではオリジナルブランドを販売。工場見学も可。

ダイコープロダクトショールーム
さぬき市大川町田面17-4 /
tel.0879-43-3566 / 9:00~17:00
/ 土・日・祝定休 / P3台 (大型バス駐
車可) ※工場見学は1ヶ月前に要相談



手袋以外にも、上質な素材を使ったさまざまな革製品が県内でつくられています。



デザイン性にも定評あり

オリジナルブランド「hmny」「CORGA」「BrEAKnoT」の革製品を展示販売。デザイン性と使いやすさで国内外から高い評価を得ています。工場見学も可。

Ruboa Design shop
東かがわ市松原1097-3 / tel.0879-25-1237 / 9:00~
17:00 / 土・日・祝定休 / P10台



使うほどに愛着が湧く

「使う」を想像したデザイン」をコンセプトに機能性とシンプルさを兼ね備えた革製品を製作。ここでしか買えない限定品も販売中。

Vintage Revival Productions factory & limited store
丸亀市土器町東9-155 / tel.0877-35-8630 / 10:00~
18:30 / 日定休 (他不定休あり) / P8台



革製品

LEATHER

Restaurant Information



素材にこだわった イタリアンを楽しむ

東京から移住したシェフが営むレストラン。和三盆糖や醤油など東かがわ市で長く受け継がれる特産品や、地産食材を活かした料理を味わうことができます。

レストランSANU
東かがわ市三本松1176-1 / tel.070-9125-0512 / ランチ11:30
~14:00 (L.O.13:30)、ディナー17:30~22:00 (要予約) /
木・金 (ランチ) 定休 / 20席 / P市営駐車場有 (4時間無料)



五名の自然が育んだ ジビエ

五名は昔から栗の産地として知られ、それを食べて育ったイノシシは肉の味が濃くて甘く、さっぱりした脂が特徴。五名産ジビエを使ったハンバーグがおすすめです。

五名ふるさとの家
東かがわ市五名1400 / tel.0879-29-2832 / 8:30~16:00 (モー
ニング8:30~10:30、ランチ11:00~14:00) ※ジビエBBQも
可 (要予約) / 火・水・木定休 / 25席 / P10台



美食探訪

伝統の食を支える手しごと

和三盆糖

WASANBONTOU

塩や綿とならび「讃岐三白」といわれ、特産品の一つである砂糖。繊細な甘みが特徴の和三盆糖は、江戸時代に將軍徳川吉宗が糖業を奨励したことで、高松藩主の松平頼恭が製糖を命じ、藩の財源を支える一大産業にまで発展しました。



せとうち日和
【フレーバー】

カモメ：プレーン
バラ：プレーン&すだち
お日様：瀬戸内レモン

ちょっといい日の和三盆

和三盆糖の干菓子を製作。手彫りの菓子木型と手作りの和三盆糖から作られた、優しい甘さと上品な味わいが特徴です。贈る喜びと受け取る笑顔を想像しながら、一つひとつ丁寧に作られています。栗林公園の前にある「tea stand」では和三盆糖をふんだんに使用したスイーツなども楽しむことができます。



和三盆抹茶ラテ
648円

**HIYORI WASANBON
tea stand**
高松市栗林町1-7-29 /
tel.087-805-7444 (日和制
作所) / 11:00~16:00 (土
日~17:00) / 水定休 / Pなし



美しい和菓子文化を支える菓子木型

和三盆糖の干菓子づくりに欠かせない、香川の伝統的工芸品である菓子木型。体験ルーム「豆花」では、菓子木型を使った和三盆糖の干菓子や練り切りづくりを体験できます。四季の風物や吉祥文様など多種多様な木型は選ぶ楽しさもあります。隣接する木型のショールーム（市原氏の工房）も見学可（要予約）。



豆花
高松市花園町1-9-13 /
tel.090-7575-1212 / 10:00
~16:00 (最終受付) / 木定休 /
P4台



菓子木型

KASHIKIGATA

いちばら よしひろ
香川県伝統工芸士 市原吉博さん

1973年に木型職人として彫りはじめ、1999年に県の伝統工芸士に認定。2004年には卓越技能章「現代の名工」を授与される。2006年黄綬褒章受章、2020年高松市文化奨励賞受章。現在は四国で唯一の菓子木型職人として活動中。



宇多津の塩



かつて
日本の
生産量

うたづ海ホテル
綾歌郡宇多津町浜一番丁4 /
tel.0877-49-0860 / 9:00~21:00
/ 月定休 (祝日の場合は翌日休)、
年末年始 / P54台 (思いやり駐車
場3台)



瀬戸内海の海水で 塩田体験

17世紀半ばから昭和30年代まで続いた入浜式塩田を再現。国内でも貴重な約900平方メートルの塩田と茅ぶき屋根の釜屋で、職人による、昔ながらの塩づくりを体験することができます。



特産品コーナーでは入浜式の塩を使った商品を購入できます。(左)宇多津入浜式の塩 / 560円 (右) うたづ塩あめ / 230円

讃岐桶樽



余分な水分を
吸うので
ごはんがふくら
おいしい!

谷川木工芸
木田郡三木町下高岡 1089-2 /
tel.087-898-0564 / 工房見学可
(要予約)



木の温もりを感じる 木製弁当箱

讃岐桶樽の伝統的な技法を生かして作られた桶型弁当箱。谷川木工芸のロングセラーであるお櫃を弁当箱へと生まれ変わらせました。なんとレンジが使えるシリーズもあり、温められるのも魅力。



谷川木工芸3代目 / 谷川清さん

瀬戸内海を一望できる カフェ



宇多津町産の古代米を使用したホットサンドやドリアを楽しむことができます。全面ガラス張りの店内から望む瀬戸内海は格別です。

海と空のカフェ

綾歌郡宇多津町浜一番丁4 うたづ海ホテル内 /
tel.0877-55-5674 / 9:00~18:00 / 月定休 / 34席 / P54台



緑と共に穏やかな ひとときを



盆栽の魅力に惹かれて来日したフランス出身のオーナーが営むカフェ。観葉植物に癒されながら店内でオーナーこだわりのコーヒーを楽しんで。

zazu plantes et cafe ザズ プランテ エ カフェ

木田郡三木町水上 1970-5 / tel.087-816-8833 / 11:00~
18:00 (L.O.17:00) / 金・土定休 / 24席 / P12台



庵
治
石

AJI STONE

国内最高峰の高級石材

庵治石は、高松市庵治・牟礼町で採掘される最高級石材で、その模様ときめ細かさ、耐久性の高さから「花崗岩のダイヤモンド」とも呼ばれています。硬さ、吸水率の低さ、粘りのバランスがとれていて風化しにくく、年月を経ても変わらない美しさが特徴です。世代を超えて伝わる職人の技術も、庵治石が銘石と呼ばれる所以です。



©Kenji Kagawa

見学情報・shop（蒼島）

● 採石場見学ツアー

採石場を見学し、気に入った原石をピックアップ。職人が「庵治石のブックエンド」へと仕上げる。工場見学も可。

【開催】

通年 / 要事前予約（蒼島）

※雨天中止

※通常時の一般の立入は厳禁



● AJI PROJECT

「暮らしに寄り添う庵治石プロダクト」をコンセプトにしたブランド。素材や職人の技術を活かし、庵治石の魅力を国内外に発信中。



蒼島（ショールーム）
高松市牟礼町牟礼3195-1 /
tel.087-814-3890 / 11:00~17:00 /
火・木・金・土営業（その他は要事前連絡）

Aji Glass



瀬戸内海を映したような 美しいブルーのガラス

庵治石の石粉を溶かして作ったガラス作品。試行錯誤を経て生まれた透明感のある淡いブルーは、讃岐の海や空の空気感を表現しています。一番人気は、愛らしいフォルムが特徴の「幸せの蒼いとりさん」。

Rie Glass Garden

高松市松福町2-2-17 /
tel.090-4782-4681 / 14:00~17:30
／毎月第1土・日、火～金定休 / P
あり（場所はHP・店頭看板にてご確認ください）



瀬戸内の風景に溶け込んだ石彫作品が楽しめる公園

竜王山山頂から雄大な瀬戸内海を一望できる公園。瀬戸内国際芸術祭のアート作品でもあるアーチ型の展望台「Watch Tower」やたくさんの庵治石の彫刻作品があり、自然とアートを満喫することができます。

あじ竜王山公園

高松市庵治町4389-1 / tel.087-845-5585（御山公園プレイセン
ター）／火定休（祝日の場合は翌平日休）、年末年始休 / P33台



流政之の住居兼アトリエが美術館に

彫刻だけでなく作庭や陶芸、家具デザインなどにおいて独自の技法やスタイルを確立した流政之。家具デザイナーのジョージ・ナカシマを香川県に招き、彫刻家のイサム・ノグチの来県にも影響を与えたなど、アート県の礎を築いた芸術家としても知られています。

NAGARE STUDIO 流政之美術館

高松市庵治町3183-1 / tel.087-871-3011 /
日～水定休 / P9台



アクセスマップ

凡 例



高松市

盆栽	庵治産地石製品
香川漆器	讃岐かがり手まり
肥松木工品	組手障子
菓子木型	高松張り



愛され続ける
国籍や世代を超えて



全国シェア約8割を誇る 一大産地

日本一の松盆栽の生産地として知られる高松市鬼無・国分寺地区。温暖少雨な気候が松盆栽の栽培に適していたこと、昔から果樹の苗木の剪定・接ぎ木技術があったことから、盆栽の里として大きく発展しました。鑑賞を主とした芸術的なものから日常で楽しむものまで、丈夫で上質な高松盆栽は、国内外問わず多くの人々を魅了し続けています。



各園の盆栽に気軽に触れられる 直売所



黒松・五葉松・錦松などの松柏類だけでなく、雑木や山野草などさまざまな盆栽が一万点以上並び、手軽に購入することができます。苔玉教室などのワークショップも開催中。

JA香川県 高松盆栽の郷
高松市国分寺町国分353-1 / tel.087-874-2795 /
9:30~17:00 / 年中無休(年末年始のぞく) / P62
台(大型バス駐車可)



盆栽×伝統工芸×食



香川の伝統文化に触れ、体感するコース

讃岐の学コース | 2.5 時間

【内容】盆栽師と盆栽の郷を散策 → 盆栽園内案内 → ものづくり体験

▼1つお選びください.....

●盆栽(こけ玉) ●陶芸 ●香川漆芸(彫漆) ●金継ぎ ●うちわ ●和菓子

【費用】15,400円

【人数】2~6名 ※予約制



※2週間前までにご予約下さい
※作品はお持ち帰りいただけます
※陶芸体験は別途焼成費5,500円が必要です
※キャンセル料: 当日連絡なし100%

予約はこちらから▶



伝統文化を五感で楽しむ

明治から続く盆栽の老舗中西珍松園の一角にあり、盆栽や香川の伝統工芸に触れることができる体験施設。匠たちとの交流や盆栽畑の見学、漆芸や丸亀うちわ、陶芸などのワークショップを通じて、香川の伝統文化を体感できます。また、地元食材をふんだんに使ったイタリアンを漆器や庵治石の器で味わうことができるコースも。歴史と文化を身近に感じながらここでしか体験できない特別なひとときを楽しみませんか？

TAKUMIKUMO VILLAGE

高松市鬼無町佐藤8-2 / tel.087-882-0526 / 9:00~17:00(受付時間) / 不定休 / P10台 ※詳細はHPをご確認ください



※価格は全て税込みです ※P表記...大=大型バス、中=中型バス、マ=マイクロバス ※掲載情報は2024年8月末時点の内容です

TRAVEL KAGAWA 2024 秋号
2024年9月発行

わがかがわ観光推進協議会 香川県交流推進部観光振興課内
〒760-8570 香川県高松市番町四丁目1-10 TEL.087-832-3362 FAX.087-835-5210

うどん県旅ネット

<https://www.my-kagawa.jp/>

